

いしづち

愛媛労災病院広報紙第20巻第1号

（通巻第95号）

2021年1月4日発行

発行人：院長 宮内文久

理念

当院は働く人々のために、そして
地域の人々のために信頼される
医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に
推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、
以下のように宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の
決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務



新年のご挨拶 2

当院の病院食について 3

HCU紹介 3

第7回 市民公開講座開催のお知らせ 4



病院長 宮内文久

昨年12月1日に突然新型コロナウイルス感染患者が発見され、一時は大きく報道されました。多くの病院で発生しているようなクラスターが当院でも出現してくるかもしれないと、愛媛県や新居浜市は大いに心配されたようです。幸いなことに感染はこの患者さんと男性職員との2名に限局し、クラスターと呼ばれるような状況に陥ることはありませんでした。

さて、今回の出来事を振り返ってみますと、いざという時の「人間力」と常日頃の「勉強」が大事だと痛感しました。職場には多くのタイプの方がいらっしゃいます。アイデアが豊富な方、アイデアを形に変えるのが得意な方、黙々と働くのが好きな方などです。これらの方々を繋ぎ合わせるのが人間力ではないでしょうか？非常時こそお互いを信頼しあって行動することが大切ではないでしょうか？セクハラやパワハラなどと無縁で、命令や強制でなく、「お互いさま」の気持ちで結びついた場でありたいと願っています。また、当院では10月上旬からコロナ感染症に対する勉強を続けていましたが、だからこそ今回の非常時でもこのように迅速に行動でき、もともと感染が広がる環境ではなかったのだとも感じています。

最後に、昨年一年を振り返って職員の皆様に感謝します。愛媛労災病院は皆様のおかげで成り立っています。この力を今年も、来年も活かして行きましょう。

当院の病院食について

栄養管理部 主任管理栄養士 大西 邦枝

疾病の治療・回復には、患者さん自身の栄養状態が深く関係しています。栄養管理部は、患者さんの栄養状態を維持・改善させ、良好な治療効果へ繋げることを目的とした業務を行っています。今回は当院で入院時に提供している病院食について紹介します。

まず、食事内容は大きく2つに分類されます。1つは常食、軟食、分粥食、流動食、産前産後食、小児食などの一般食です。そしてもう1つは、疾病治療の直接手段として個人の病状や状態に対応した内容である特別治療食です。（腎臓食、肝臓食、糖尿食、胃潰瘍食、貧血食、膵臓食、脂質異常症食、痛風食など）

また、それに加えて口腔内状態や嚥下状態を考慮した食形態、食物アレルギー、食欲不振など、患者さんの状態に応じて個別の対応を行っています。

「楽しみは食べること」。私達スタッフがよく患者さんからいただく言葉です。楽しみに関す

ることを医療の一環として提案や提供をすることは、時には難しい問題が生じることがあります。そのため、それぞれの立場で専門的な知識や技術・工夫をもって、患者さんの思いに寄り添った医療の提供ができるよう、スタッフ一同研鑽を積みながら日々奮闘しております。



行事食一例：正月おせち
(各食種に応じた内容でお作りしました)

HCU紹介

HCU 看護師 岸 真由美

HCU（高度治療室）は病床数4床を有しており、高度治療部専任医師1名、看護師11名で、専門的な治療と看護を行っています。手術後や生命に危険のある患者さんが入室されているため、ベッドサイドに多くの医療機器があり、看護師が一目で監視できる構造になっています。

主に、急性心筋梗塞や心不全などの循環器疾患、呼吸不全で人工呼吸器管理が必要な状態、急性脳血管障害や手術後の患者さんが入室されています。様々な診療科で疾患や病状の幅が広いので、医師をはじめとした院

内の多職種と連携しワンチームで医療と看護が提供できるよう取り組んでいます。

コロナ禍の現在、面会も制限されており、患者さんだけでなくご家族の不安や心配も大きくなります。HCUは一人一人に関わる時間が多い部署です。患者さんの病状の回復を願い、笑顔を忘れず、緊張を和らげる対応をいつも心がけています。



第7回 市民公開講座開催のお知らせ

日本は、世界有数の長寿国となった一方で、高齢化は急速に進み、国民の4人に1人は65歳以上という超高齢社会を迎えています。

「健やかに」とは、病気をせず健康なこと、丈夫であることという意味があります。誰もが単に長生きするだけではなく、高齢になってもできる限り、心身ともに健康に過ごしたいと考え、質的健康の充実と、健やかに暮らせる地域を望んでいます。健康意識は、生活の質、生命の充実度と関連するものであり、本人の置かれている文化や社会的環境とライフスタイルによって影響されます。高齢者の健康増進を考える場合、普段の習慣のすべてを一度に健康的なものへ変えることは難しいことですが、日頃の生活習慣を振り返り、一つでも二つでもできることから良い習慣に改善することで、「健やかに老いる」ことにつながることもできると考えます。

今回の講座では、「泌尿器科領域」「皮膚科領域」「皮膚・排泄ケア」「整形外科領域」「リハビリテーション」の5つの視点から講演を予定しています。


これらの講座を通して、市民の皆様とともに「健やかに老いる 豊かな人生」について考える機会にしたいと思っております。また、今年度の市民公開講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、下記スケジュールで映像配信いたします。ぜひご視聴ください。

令和2年度 愛媛労災病院

第7回市民公開講座

テーマ

健やかに老いる 豊かな人生



愛媛労災病院
マスコットキャラクター
AIO（あいろ）ちゃん

次 第

1. 排尿障害について	愛媛労災病院 泌尿器科医師 越智 達正
2. 正しいスキンケアと当院の美容医療について	愛媛労災病院 皮膚科医師 樋口 陸美
3. 心と体を健康に～健やかに老いるために～	愛媛労災病院 理学療法士 成田 雄太郎
4. ロコモティブシンドローム（運動器症候群）について	愛媛労災病院 整形外科医師 小林 弘明
5. 知ってほしい 皮膚ケア	愛媛労災病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 大山 淳子

●初回放送日

令和3年2月28日（日）

13:00～


コミュニケーションチャンネル

701ch（再放送有）

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から
今年度は映像配信となります

●初回放送日翌日（3月1日）より当院のホームページからご覧いただけます。

<https://www.ehimeh.johas.go.jp>



●主催

独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛労災病院

●共催

新居浜市

広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：山田第2内科部長、今田看護副部長、横井看護部長、山根看護部長補佐、石原看護部長補佐、加地看護師、大成薬剤師、西原作業療法士、正岡診療放射線技師、井上臨床検査技師、稲富総務課長、岸本総務課員、佐々並医事課員、加藤栄養士、越智総務課員